

## 学術集会長特別賞および プログラム委員長賞のご紹介

MATSUZAKA Masashi

松坂 方士

弘前大学 / JACR 理事



第32回学術集会には、口演とポスターを合わせて45演題を登録いただきました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

これまでの学術集会では、学術委員会が選考する最優秀口演賞、最優秀ポスター賞、優秀ポスター賞が表彰されてきました。ただ、今回の学術集会を企画するなかで、これらには及ばないまでも、将来を期待できる演題や演者、地道な活動を続けているがん登録室を表彰したいという意見が齋藤博・学術集会長と松坂（プログラム委員長）でまとめ、学術委員会の選考とは別に学術集会長特別賞とプログラム委員長特別賞を表彰する運びとなりました。

学術集会長特別賞は、「社会経済指標と原発性肺がん術後の純生存率との関連：院内がん登録を使用した日本の三次医療機関での観察研究」（東京医科歯科大学・花房真理子先生）と「Tableau Prep, Tableau Desktopを用いたデータ加工から一貫した年齢調整死亡率の都道府県順位可視化に関する研究」（大阪大学大学院・池田明日香先生）が受賞しました。花房先生の演題は、世界的にがん疫学のトレンドの一つとなっている社会経済指標を用いた研究であり、日本で今後さらに利用促進が望まれる院内がん

登録データを丁寧に解析したことが高く評価されました。池田先生の演題は、非医療系大学の学生さんが中心となり、Tableauを用いて鮮や



かにデータを視覚化したことが大きな将来性を感じさせるものでした。

プログラム委員長特別賞は、「医療情報室がん登録担当 活動報告」（滋賀県立総合病院・



柳香里さん）と「がん登録実務者支援の実施報告と次年度の取り組み」（佐賀大学・佐々木和美さん）が受賞しました。いずれも院内がん登録実務者さんからの活動報告ですが、このようなひたむきな取り組みが日本のがん登録の土台を支えていることに改めて感謝し、今後の更なる発展を期待しての選出でした。